

ご縁の国しまね

第55回 全日本登山大会



島根大会 開催要項

世界遺産と神話の山を辿る

期日 平成28年11月4日(金)～6日(日)

会場 島根県大田市・松江市

主催： 公益社団法人 日本山岳協会
主管： 島根県山岳連盟
後援： スポーツ庁、環境省、(公財)日本体育協会
(予定) 島根県、松江市、大田市、島根県教育委員会
松江市教育委員会、大田市教育委員会
(公財)島根県体育協会、(公社)島根県観光連盟
(一社)松江観光協会、(一社)大田市観光協会
国立三瓶青少年交流の家、(公財)しまね自然と環境財団
山陰中央新報社



国立公園・三瓶山と 世界遺産・石見銀山へようこそ

島根県山岳連盟
会長 松本 実

第55回全日本登山大会は、国引き神話の舞台となった国立公園・三瓶山と世界遺産「石見銀山」を主会場に、開会式及び閉会式・交歓会は、国宝松江城と夕日の美しい宍道湖がある松江市で、平成28年11月4日から6日まで3日間にわたり開催いたします。

三瓶山は、島根県のほぼ中央に位置し、約1300年前に編纂された「出雲国風土記」に東の大山と共に、島根半島の山々を引き寄せてつなぎ止めた西の杭の山として記されており、その頂上からはこの「出雲国風土記」の雄大な景色をご覧いただけます。

また、石見銀山は、平成19年に国内初の産業遺産として、世界遺産の指定を受けました。この遺跡は、鉱山跡地のほか、銀山争奪の城跡など400ヘクタールに及ぶ大規模遺跡であり、大会コースの一つである石見銀山ルートは、これらの中の主要な部分を辿るコースです。

この大会期間中の旧暦10月は、一般的には「神無月」と言いますが、神話の国、出雲では、や およろず八百万の神々が集うことから「神在月」と言います。全国の山仲間が、八百万の神々にならい、ここ島根の地に集結し、登山技術の向上と参加者同士の縁えにしを深めることは大変意義深いことと思っています。

本年8月11日は最初の「山の日」です。その記念すべき年に、ぜひこの大会にご参加いただきますようご案内いたします。関係者一同、「ご縁の国しまね」を合言葉に、来県される皆さまをお待ちしております。

第55回全日本登山大会 島根大会 開催要項

スローガン 世界遺産と神話の山を辿る

大会目的 旧暦10月、八百万の神々が集うことから「神在月」と呼称されるここ島根の地に、全国の山仲間が集結し、出雲神話の舞台である「三瓶山」と、世界遺産「石見銀山」の核心部を辿ることで、登山技術の向上と参加者相互の縁を結ぶ。また、自然保護の精神と地域の宝を再認識しあい、次世代への継承を誓う。

- 開催期日 平成28年11月4日(金)～6日(日) 2泊3日
- 主催 公益社団法人 日本山岳協会
- 主管 島根県山岳連盟
- 後援 スポーツ庁、環境省、(公財)日本体育協会、島根県、島根県教育委員会、(公財)島根県体育協会、(公社)島根県観光連盟、松江市、松江市教育委員会、(一社)松江観光協会、大田市、大田市教育委員会、(一社)大田市観光協会、国立三瓶青少年交流の家、(公財)しまね自然と環境財団、山陰中央新報社
- 開催場所 大田市、松江市
- 会場 受付・開会式、閉会式・交歓会
松江テルサ 松江市朝日町478-18 (JR松江駅前) TEL 0852-31-5550
登山行動
三瓶山、石見銀山
- 定員 200名
- 日程
 - ◆第1日目/11月4日(金)
 - 12:00～13:00 受付
 - 13:00～13:30 開会式
 - 13:40～14:40 記念講演会 講師：中村 唯史氏
(島根県立三瓶自然館サヒメル学芸員)
 - 15:00～17:00 宿舎(大田市：国立三瓶青少年交流の家)へバスで移動
 - 17:00～17:30 開始式・夕べの集い
 - 17:30～ 夕食、入浴、就寝
 - ◆第2日目/11月5日(土)
 - 6:50～ A・Eコースの出発

8:30～ B・C・Dコースの出発
 13:30～14:30 登山終了(コースにより異なる)
 バスで松江市(各宿舎)に移動
 18:00～18:30 閉会式「松江テルサ」
 18:30～21:00 交歓会「松江テルサ」

◆第3日目/11月6日(日)

朝食後、自由解散
 8:00～ 8:30 オプションツアー出発(希望者のみ)
 集合場所 松江駅南口
 解散はJR松江駅・出雲市駅又は出雲縁結び空港

9. 登山コース(5コース) ★は難易度

コース名	行程	難易度	定員	備考
Aコース 三瓶全山縦走	宿舎→(自然歩道)→西の原→扇沢→子三瓶山→孫三瓶山→太平山→女三瓶山→男三瓶山→宿舎	★★★★★ 距離11.3km 7時間	50名	朝食弁当
Bコース 女三瓶山・男三瓶山 縦走	宿舎→女三瓶山→男三瓶山→宿舎	★★★ 距離 5.9km 4時間	40名	
Cコース 男三瓶山正面登山	宿舎→(自然歩道)→西の原→男三瓶山→宿舎	★★ 距離 7.8km 4時間20分	30名	
Dコース 太平山・室の内・ 孫三瓶山	宿舎→(自然歩道)→東の原→太平山→室の内→孫三瓶山→夫婦松登山口→(バス)→宿舎	★ 距離 8.8km 4時間20分	30名	
Eコース 石見銀山	宿舎→(バス)→大久保間歩→石銀集落跡→佐毘売山神社→要害山→大森町並→大森代官所前	★★ 距離 8.2km 6時間	50名	朝食弁当 石見銀山 ガイド付

10. 参加資格

- ①都道府県山岳連盟(協会)より推薦を受けた方。
 - ②公益社団法人日本山岳協会の役員、参与および賛助会員。
 - ③地域の登山普及を図るため、主催者が特に認めた方。
- ◆参加者は、できるだけ「山岳共済会山岳遭難・捜索保険」に加入してください。

※保険の問合せ先：TEL 03-5958-3396(日本山岳協会山岳共済事務センター)

11. 登山の留意事項

- ①参加者は各自で大会中の飲み物、行動食、非常食を準備して下さい。
- ②大会2日目(11月5日)の昼食は、弁当(お茶500mlペットボトル付き)を配布します。
- ③コース中トイレはありませんので携帯トイレを持参してください。
- ④ゴミの持ち帰り等、自然保護に努めてください。
- ⑤山行に使用しない荷物は、1泊目の宿舎にて預かります(Eコースを除く)。

12. 参加申し込み

以下に記載の大会費用の内、参加費は大会事務局の委託を受け、東武トップツアーズ(株)松江支店にて代行收受を致します(旅行契約ではありません)。

(1) 申込方法

- ①参加者は、巻末の「参加申込書」に必要事項を記入し、記載責任者押印の上、「大会費用振込みの控え」またはコピーを添えて、下記あてに送付するかFAXしてください。

東武トップツアーズ(株) 松江支店

〒690-0061 鳥根県松江市白濁本町13-4 (三井生命ビル7F)

TEL 0852-21-5425 FAX 0852-23-0433

担当 中谷・田中

- ②記載責任者は、「参加申込書」のコピーを所属山岳連盟(協会)に提出してください。

(2) 大会費用の納入先

指定金融機関：山陰合同銀行 北支店

口座番号：2611646

口座名義人：東武トップツアーズ株式会社松江支店 店長 二宮 俊雄

〈振込みの際の注意〉

- ①振込み手数料は参加者負担とさせていただきますのでご了承願います。
②振込み金額が金融機関により設定されていますので、事前にご利用金融機関にて確認されることをお勧めいたします。
③現金書留での送金も可能です。東武トップツアーズ(株)松江支店へ「全日本登山大会係」と明記の上、お送りください。

東武トップツアーズ(株) 松江支店

〒690-0061 鳥根県松江市白濁本町13-4 (三井生命ビル7F)

TEL 0852-21-5425

(3) 申込期間 平成28年8月1日(月)～平成28年9月2日(金)

※定員になり次第締め切ります。(定員200名)

(4) 大会費用 合計 33,000円

内訳：①参加費：24,500円(第1日目の宿泊施設使用料、大会中の全食費(②を除く)、大会中の輸送費・記念品・保険料を含む)

※1日目の宿泊は「国立三瓶青少年交流の家」となります。当施設は、国立青少年教育振興機構が運営する団体研修施設で、一般のホテル・旅館等の宿泊施設ではございません。

②第2日目の宿泊代金：8,500円(1泊朝食付き)

- (5) 希望コースについては、人員により調整することがあります。必ず第3希望まで記入してください。申し込み締め切り後、9月15日(木)頃までに決定内容の通知を差し上げます。

(6) 参加の取消・返金について

特別な事情により大会への参加が不可能になった場合、次の取り扱いをします。なお、返金精算は大会終了後となります。

- ①大会費用の納入後、平成28年10月24日(月)までに参加取消の連絡があった場合は、参加費の90%を返金します。10月25日(火)以降の取消の場合は、返金いたしません。(連絡先：東武トップツアーズ(株)松江支店)

②第2日目の宿泊代金については、東武トップツアーズ(株)松江支店が企画・実施する「募集型企画旅行」との旅行契約となるため、別項の取消料をお支払いいただきます。

13. 事務連絡事項

(1) 大会並びに山域に関する問い合わせは大会事務局へ

島根県山岳連盟 全日本登山大会事務局

〒691-0073 島根県出雲市美野町1574-3 岩成久 方

TEL&FAX 0853-69-1756

(2) 飛行機、JRの手配および2日目の宿泊、大会終了後のオプションツアーの問い合わせ・申し込みは下記まで。

東武トップツアーズ(株) 松江支店

TEL 0852-21-5425

担当：中谷・田中

(3) 岳連（協会）旗は、10月24日(月)までに、大会事務局へ送付してください。

〈送付先〉

島根県山岳連盟 全日本登山大会事務局

〒691-0073 島根県出雲市美野町1574-3 岩成久 方

TEL&FAX 0853-69-1756

(4) 「参加申込書」、「参加費等振込み明細書」の様式は、日本山岳協会のホームページからダウンロードできます。

14. 関係連絡先

- | | | |
|--------------|-----------------|------------------|
| ・島根県警察大田警察署 | 大田市長久町長久ハ-7-1 | TEL 0854-82-0110 |
| ・国立三瓶青少年交流の家 | 大田市山口町山口1638-12 | TEL 0854-86-0311 |
| ・大田市立病院 | 大田市大田町吉永1428-3 | TEL 0854-82-0330 |
| ・大田市消防本部 | 大田市大田町大田イ-421-1 | TEL 0854-82-0650 |

三瓶山及び石見銀山の紹介

鳥根県は東西に長く伸びている県です。古くは出雲地域と石見地域及び隠岐地域の3つの文化圏に分かれていました。本大会の会場となる大田市は石見地域にあり、鳥根県のほぼ中央部に位置し、北は日本海に面し、南東には三瓶山、南西に石見銀山を含む大江高山火山群という二つの山塊があります。

【三瓶山の紹介】

三瓶山は、大山隠岐国立公園に属し、鳥根県中央部に位置する火山です。古くは佐比賣山と呼ばれ、1300年前に編纂された「出雲国風土記」の冒頭には、鳥根半島の山々を引き寄せてつなぎ止めた西の杭として登場します。綱は出雲大社の西側、園の長浜になります。一方、東の杭は、鳥根県の大山、綱は現在の弓ヶ浜と言われ、古代人の想像力の豊かさには驚くばかりです。

三瓶山は中国地方では珍しいカルデラの景観と、山麓に広がる西の原、東の原、北の原のような草原の景観が大きな特徴です。三瓶山体は、約4×5kmのカルデラ内にあり、山体の中央部は、室の内と呼ばれるくぼ地です。三瓶山は、室の内を取り囲むように、テレビ塔のある女三瓶山から反時計回りに、男三瓶山、子三瓶山、孫三瓶山の円頂丘溶岩のピークが連なります。

男三瓶山の北斜面や室の内には、ブナ・シデなどの自然林がみられ四季折々に変化に富んだ姿を見られます。火口湖である室の内池は水深約1.5mで、地下水および雨水で涵養され、池の近くには「鳥地獄」とよばれる二酸化炭素の噴気孔がありますが、最近では噴気が弱まっています。

また、北麓の三瓶町多根小豆原地区には、約4000年前の火山活動で埋積された巨木群が存在し、「三瓶小豆原埋没林」として国の天然記念物に指定されています。スギを中心とする森林がそのまま埋積されたもので、大きなものでは高さ12m、直径2.5mを超える幹が直立しています。この埋没林は「埋没林公園」として公開されています。

【石見銀山の紹介】

石見銀山は、1526年、博多の豪商、神屋寿禎に発見されて以来、約400年にわたって採掘された鉱山遺跡です。

石見銀山で生産された銀は、高品質で、最盛期には日本銀の三分の一を産出し、東アジア交易においても石見銀山のある佐摩村にちなんでソーマ銀と呼ばれ流通しました。

また、大航海時代の16世紀、日本の銀山としてヨーロッパ人に唯一知られた存在で、当時ヨーロッパで作られたアジアや日本の地図に、石見銀山付近を指して「銀鉱山王国」「銀鉱山」と記載されています。

平成19年7月、環境に配慮し自然と共生した鉱山遺跡として「石見銀山とその文化的景観」が世界遺産に登録されました。

(参考文献) 1. 銀山紹介については大田市観光ガイドブックより引用

登山コースガイド

Aコース

三瓶全山縦走 (約11.3km/約7時間)

国立三瓶青少年交流の家～〈10分〉～姫逃池^{ひめのがいけ}～〈50分(中国自然歩道)〉～西の原正面登山道合流地点
～〈60分〉～扇沢^{あおぞ}～〈20分〉～子三瓶山^{こさんびん}～〈60分〉～孫三瓶山^{まごさんびん}～〈40分〉～太平山^{たいへいざん}～〈20分〉～女三瓶山^{めさんびん}
頂^め～〈80分〉～男三瓶山頂^{おさんびん}～〈80分〉～国立三瓶青少年交流の家

標高約600mの国立三瓶青少年交流の家（以下交流の家）を発着地として、山麓を北の原から西の原に廻り、扇沢からとりついて、反時計廻りに三瓶のお鉢全山を縦走する今大会最長のコースです。

交流の家をスタートして約10分、カキツバタが浮島を形成して群生する姫逃池^{ひめのがいけ}の横を通過し、三瓶山麓を反時計廻りに標高差の少ない中国自然歩道を50分歩くと、標高約560mの男三瓶山^おへの正面登山道との交差点に着きます。

ここから男三瓶山・子三瓶山の鞍部である標高約850mの扇沢^{あおぞ}をめざして山体にとりつきます。樹林間の笹藪の谷を約60分登りきると扇沢（峠）で、これから縦走する三瓶のお鉢の山々が林間から望めるようになります。かつて噴火口であった室の内は、男三瓶山側からの崩落で室の内池^{むろうち}に向かって扇状地を成しており、紅葉の始まった三瓶山を縦走する際、重要なアクセントとなります。お鉢を廻り角度を変えながら、三瓶の山体の内側も眺めてみてください。

扇沢から約20分で子三瓶山を登りきりますが、縦走路から西に分岐して1分先が標高961mの山頂です。Aコースの中で、初めてパノラマ展望のきく場所です。

標高約830mの風越^{かぜごえ}（子三瓶山・孫三瓶山間の鞍部）までの下りでは、①室の内と全山が見通せる。②室の内池がきれいなハートマークに見える。③笹藪の中に風越の十字路がくっきりみえるなど絶好のビューポイントですが、足元にも充分注意しながら歩いてください。

続いて、標高903mの孫三瓶山への急登です。見た目より簡単に20分あれば登れるはずですが。

ここから標高854mの太平山^{たいへいざん}までは、高低差の少ない緩やかな稜線を約40分歩きます。太平山の山頂は平坦で広く、ベンチが幾つか据えられています。山体図が設置されていますので、見比べてみてください。ここは、旧東の原スキー場のリフトが1ラインだけ観光リフトとして、冬期を除く3シーズン運転されており、一般客も太平山・女三瓶山までは容易に登れます。エスケープルートとしても心強い場所です。

次に登る標高953mの女三瓶山が真近に見えています。テレビ・ラジオ中継用の白い電波塔群が、その存在を目立たせています。山頂には、約20分で登ります。

(女三瓶山～男三瓶山～北の原の状況は、Bコースのガイドを参照してください)

Bコース

女三瓶山・男三瓶山縦走 (約5.9km/約4時間)

国立三瓶青少年交流の家～(80分)～女三瓶山頂～(70分/尾根縦走)～男三瓶山頂～(70分)～姫逃池登山口～(10分)～国立三瓶青少年交流の家

標高約600mの国立三瓶青少年交流の家（以下、交流の家）を発着地として、三瓶山自然林を抜けて標高953mの女三瓶山に登り、お鉢を半周して1,126mの男三瓶山をめぐるコースです。

スタートから約20分は標高差の少ないアップダウンを歩きますが、泥・石の上に落ち葉の有る滑り易い路面に注意が必要です。女三瓶山頂までは、樹林帯の中を登ります。始まった紅葉を楽しみましょう。

女三瓶山頂からは、三瓶のお鉢廻り全山と眼下に室の内池（かつての噴火口で♡マークの池）はもちろん、北東にくにびき神話での綱となった園の長浜、その先に引き寄せられた島根半島、砂浜の左は日本海大社湾、右は出雲平野が展望できます。東は大万木山と琴引山など中国山地の山々です。

お鉢を反時計廻りに一旦下り、鞍部を経て兜山という小ピークを通過します。急な登り下りを越え、岩やザレて歩きにくい急坂を登ると傾斜が緩やかになり広い斜面に出ます。一見笹原ですが、春から初夏にかけてオオバギボウシなどが一面に咲くお花畑（三瓶のユートピア）です。角度をかえた室の内もお楽しみください。

小ピークを越えると犬戻しです。ここは近年崩壊し、両端が切れ落ちた樹木の無いやせ尾根で、特にこの付近は下山時、重大事故の多発地点です。男三瓶山頂まで短い区間ですが、慎重な行動が求められます。

登りきると、急に広くなだらかになり、男三瓶山頂を見ます。登山道以外この時期は一面ススキの草原です。山頂は台地状で、中心は1,125.9mの一等三角点。木製の山頂碑と石州瓦屋根の山頂神社の祠があります。地元では、男三瓶山の標高約1,126mを三瓶温泉にちなみ、「いい風呂」と覚えます。

360°パノラマ展望ができ、展望台から北西に日本海、眼下に大田市、直下に宿舎であった交流の家と三瓶自然館サヒメル、北の原キャンプ場が見え、西に大江高山火山群が見えます。北は島根半島と出雲平野です。東に大万木山や琴引山の山塊、晴れて空気の澄んだ日は遠く大山（伯耆富士）、希に隠岐諸島が見える事もあります。木道を近くの展望台へ進み、三瓶全山や室の内を見るのもいいでしょう。

山頂展望台からの下山は、真北にある登山道「姫逃コース」の国の天然記念物三瓶山自然林内を下ります。日本海沿岸部ではブナ林の最西端の一つとみられており、頂上近くには「これがブナか？」と思う程、風雪で歪曲した低木があります。冬の日本海沿岸は北西風が強く、西日本の低山でありながら独立峰である三瓶山の、自然の厳しさを示すものです。この北斜面は例年4月末まで谷筋に雪が残ります。

ブナ、ミズナラ、クロモジの自然林を50分下ると道がやや平坦になり、中国自然歩道と交差した後、あずまやのある広場に出ます。落葉針葉樹のカラマツの紅葉が美しい場所です。

再びジグザグ道を下ると20分で、姫逃池登山口です。自転車道を約10分で、出発地点の交流の家に戻ります。着後、松江の宿舎に移動するバスに乗車します。

Cコース

男三瓶山正面登山 (約7.8km/約4時間20分)

国立三瓶青少年交流の家～〈10分〉～^{ひめのがいけ}姫逃池～〈50分(中国自然歩道)〉～西の原正面登山道合流地点
～〈110分〉～^お男三瓶山頂～〈90分(名号コース経由)〉～国立三瓶青少年交流の家

三瓶山の山麓を北側から西へ反時計回りに4分の1周して、西の原の正面登山道に合流。^お男三瓶山へ直登した後、北の原の出発地点、国立三瓶青少年交流の家（以下、交流の家）へ戻るコースです。

宿泊先の交流の家から、^{ひめのがいけ}長者原の姫逃池を経て中国自然歩道を西の原へ向かって歩きます。姫逃池は、くぼ地に湧水が溜まってできたもので、5月下旬から池のほとりと浮島にカキツバタの群生が見られます。浮島は風によって移動します。県の天然記念物に指定され、紫の花が長者の娘、白い花が若者とした悲恋の伝説もあります。山麓の中国自然歩道は標高550mから600m付近を通るなだらかな道で、ナラ、タリ、ケヤキなどの樹林帯にあります。歩き始めて1時間程で、標高554mの西の原から続く正面登山道の合流地点に着きます。ここは扇沢から男三瓶山・^こ子三瓶山間の鞍部へ出る道の分岐点でもあります。

この地点から男三瓶山頂までゆっくり歩いて110分の道程です。登山道は6合目付近(標高800m付近)まで針葉樹林の中をジグザグに登ることになりますが、そこから上は視界が開けて眼下に西の原や^{うきぬの}浮布の池、南には子三瓶山も見えてきます。この付近から急登が続くので足元に注意しながら登ります。標高1,000m付近まで登ると斜度が緩やかになり、ススキや萱などの草原が広がっています。春から夏には色々な草花が見られる場所です。この中の道をのんびりと進んで行くと、やがて台地状の山頂が見えてきます。山頂は広く、中央に国立公園三瓶山(1,126m)の標柱が立ち、一等三角点があります。日本二百名山のひとつでもあり、プロアドベンチャーレーサー田中陽希氏も平成27年12月5日にこの頂に立ちました。また、石州瓦葺きの山頂神社の^{やしろ}祠は、国立公園指定50周年事業として^{おおだし}大田市の呼びかけで、地元やボランティアの方々によって平成26年4月に担ぎあげられたものです。北側の展望台から日本海や島根半島、東側の展望台からは^め女三瓶山、^{まご}孫三瓶山、^こ子三瓶山、^{むろ}火口湖の^{うち}室の内池が見え、三瓶山の全容が望めます。また遠くには中国山地の連山が広がって、空気が澄んでいれば鳥取県の^{ほうきだいせん}伯耆大山も望めます。

下山は、山頂の少し下にある山頂避難小屋の横から北斜面の^{みょうごう}名号コースを下ります。下り始めは急坂で、ブナやナラなどの木の根が登山道へ張り出しているため、つまづき、転ばないように注意が必要です。この辺りは三瓶自然林として国の天然記念物に指定されており、ブナやナラの自然林の中をつづら折れに下ります。下り始めて約1時間で山麓の自然観察モデルコースに合流します。この辺りは森林浴の森100選として知られ、地面にはシダ類が群生した貴重な動植物の息づく場所です。更に下るとトイレの建物があり、そこから約30分で終着地「名号コース登山口」に着きます。車道を横切った向い側が出發した交流の家です。下山後は、交流の家からバスで松江の宿舎へ移動します。

Dコース

太平山・室の内・孫三瓶山 (約8.8Km/約4時間20分)

国立青少年交流の家～〈60分〉～東の原登山口～〈60分〉～太平山～〈40分〉～室の内池西叉路～〈50分〉～孫三瓶山～〈50分〉～女夫松下山口

Dコースをいわゆる難易度で表現すると『初級者向き』となり、確かに急な上り下りの場所や“危険”な場所はほとんどありません。しかし総距離は8.8km、時間的にも4時間20分の歩行時間となりそうで、それなりの体力とコンディションが必要です。ベストコンディションで参加いただければ行動にも余裕ができ、眺める景色から受ける感動も全然違ってくると思われます。

国立青少年交流の家（以下、交流の家）の標高は約600mで、ここから南東の名号コース登山口をみて自転車用道路（ヘルシートレイリングコース）に入ります。緩やかなアップダウンが続く舗装された道と砂利道が、広葉樹の紅葉の静かな山腹を巻くように続いています。たどり着いた東の原登山口は標高が約580mなので、出発地との標高差がほとんどない区間です。

東の原登山口には、広い駐車場と観光リフトとトイレがあり、ここで小休止します。眼前に広がる太平山の南東斜面と女三瓶山の東斜面が紅葉に彩られて広がっています。

ここからが登山道の始まりで、リフト乗り場脇の放牧場のゲートを通りシバ草を踏みしめ、アカマツなどの針葉樹も雑じる林の道を、ゆるやかに登っていきます。観光リフト終点から70mほど歩くと峠に出ます。峠から南へ短い階段を登るとすぐに太平山で、山頂は大きく開け、天候が良ければ、遠く南東方向に県境の大万木山や琴引山の連なり、南西方向には大江高山火山群の特徴ある山塊が眺められます。北東側の眼下には、これから向かう室の内とその周りを囲む男三瓶山・女三瓶山・子三瓶山・孫三瓶山などの山々がひろがります。小休止の後はずぐ下の峠へ引き返し、室の内へ下っていくのですが、天候が悪い場合は峠の西側に展望所が有り、休憩を取ることができるので心強いところです。

峠から室の内への下りは、Dコース中一番の急斜面ですが、登山道はしっかりとしていてジグザグにもなっているので安心です。降り立った室の内は、自然公園法の特別保護区になっており、生態系保護のために厳しい規制がかけられています。この付近は伐採や放牧の影響を受けた二次林と考えられ、コナラ・ミズナラ・イヌシデ・クリ・カエデ類等の高木で構成されています。ここから南に登山道が続き、ほどなく室の内池に着きます。池の西端の三叉路付近は、シバ草の自然な広場で、ベンチもあり感じの良い場所です。

この先は、鳥地獄近くの三叉路を西に進み、緩やかな斜面を登りつめれば見晴らしのきく風越の峠にたどり着きます。峠から標高差で100mほど、少し急傾斜ですが20分でさほど問題なく孫三瓶山に到着します。

山頂からの展望は太平山より素晴らしく、時間が許せば最後に大休止をとります。下山は、ブナの自然林が残る広葉樹の樹林帯を、女夫松登山口へ向け、ゆっくりと下ります。ほどなくアカマツ、カラマツの混成林となります。クマザサの繁る登山道には、部分的に足元の悪そうなどころもありますが、よく整備されています。

女夫松登山口へ下山後は、バスで交流の家を経由し、松江の宿舎へ移動します。

石見銀山 (約8.2km/約6時間)(ガイド解説を含む)

大田三中～〈30分〉～原田口駐車場～〈20分〉～大久保間歩～〈10分〉～釜屋間歩・岩盤加工遺構～〈15分〉～石銀鉱山集落跡(仙ノ山)～〈40分〉～佐毘売山神社～〈40分〉～要害山(山吹城跡)～〈30分〉～清水寺前休憩所～〈25分〉～町並み地区～〈25分〉～大森代官所前

このコースは、世界遺産石見銀山の核心部を3名のガイドの解説を聞きながら歩いていきます。

国立三瓶青少年交流の家を出発したバスは、50分で大田市水上の大田三中近くに到着します。

降車して、前方に仙ノ山を眺めながら20分ほど歩くと原田口駐車場に到達します。

砂利敷きの車道を少し登ると「本谷口番所跡」があり、ここから江戸時代の銀山の管理地「柵内」に入ります。右手斜面に「下金生抗」と呼ばれる坑道が見えてきます。入口の柵に169の数字が書かれています。山中で調査されている間歩(坑道)の数は600ほどもあります。右の斜面に沿って10分ほど登った所に作業小屋のある広場があり、ここから本谷の登山道に入ります。

大久保間歩まで10分ほどです。大久保間歩は、大森代官の大久保長安が馬に乗り槍を持って入ったとの言い伝えが残り、石見銀山の間歩の中で最大級です。大久保間歩から10分ほどで周辺が開けた、釜屋間歩に着きます。釜屋間歩は、備中出身の山師・安原伝兵衛が発見し、慶長八年(1603年)に3,600貫(13.5トン)の銀を徳川家康に運上したと言われます。間歩のすぐ上に岩盤加工遺構があり、右上方の水平な岩盤上の水路や、中央右手に空けられた水をためる穴などから、選鉱・精錬施設の跡と考えられています。更に5分登ると本間歩で、左手上方に続く窪みは露頭堀の跡であると考えられています。この地点では、よく見ると谷の左右に露頭堀の跡が走っており、仙ノ山に見られる東西方向の鉱脈に一致します。

15分ほど本谷を上り詰めると石銀集落跡です。仙ノ山山頂近くに位置する石銀の平坦面はかなり広く、戦国時代末から江戸時代初期にかけて鉱山町があった場所で、昔の井戸やため池の跡もあります。北西に目をやると、このあと登る要害山が山城らしい急峻な山容を見せています。

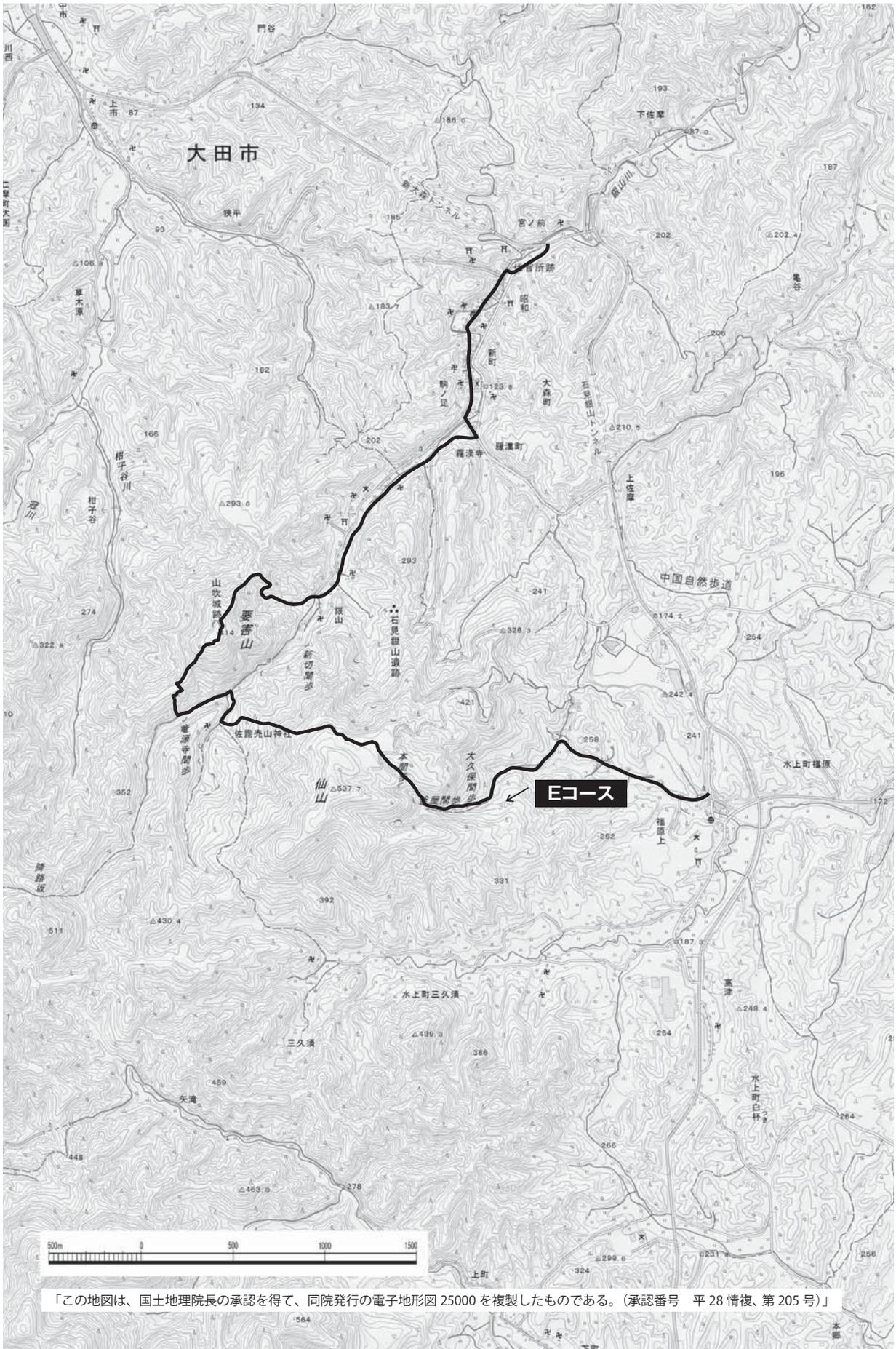
コースはこの石銀集落跡から西側の佐毘売山神社に向かいます。最初は竹藪の中のなだらかな下りですが、10分ほどで傾斜の急な斜面にさしかかります。足下に注意しながら30分近く下ります。

佐毘売山神社には精錬の神「金山彦命」が祭られており、古くから銀山の守り神として尊ばれてきました。神社の階段を下り、銀山川右岸の遊歩道を下ります。その先の車道を左折すると間もなく右手に要害山(山吹城)への急な登山道が見えます。そのすぐ先に龍源寺間歩入口があります。

要害山は、戦国時代に毛利氏と尼子氏が石見銀山の覇権を争った古戦場で、その険しい地形を利用して作られた中世の山城跡です。急坂を20分登ると、西方の木の間越しに矢滝城山や馬路高山など大江高山火山群の特徴的なピークが見えてきます。10分ほどで頂上平坦面に達します。414mの山頂からは眼下に大森の町並み、東に三瓶山の端正な姿、北側の仁摩の町並みの先に日本海を望むことができます。

下りは、急で不安定な階段を注意しながら約600段下り、砂利道を経て20分ほどで山吹城登山口に達します。車道を左に折れてすぐ清水寺前休憩所とトイレがありますので、大休止を取ります。

ここから、かつて銀山支配を行った武家や商家が残る町並みをゆっくりと通り抜け、大森代官所前でコースを終了します。着後、バスで松江の宿舎に移動します。



〈大会2日目の宿泊・観光オプションツアーのご案内〉

※大会第2日目の宿泊および大会終了後の観光オプションツアーは東武トップツアーズ(株)松江支店が企画・実施する「募集型企画旅行」です。下記の記載および別紙の旅行条件書をご確認の上、お申込みください。

●宿泊のご案内

宿 泊 日：平成28年11月5日(土)

宿 泊 条 件：1泊朝食付(税金・サービス料込) おひとり8,500円
シングルルーム利用。

最少催行人員：1名

添 乗 員：添乗員は同行いたしません。宿泊手続きは、お客様ご自身でお願いいたします。

※宿泊の申込みについて次の事項についてご留意ください。

※個人勘定及びこれに伴うサービス料金・諸税は各自ご精算願います。

※ホテルの配宿については、大会事務局(鳥根県山岳連盟)と調整の上、決定させていただきます。
お客様からのご希望・指定は出来ませんので、ご了承ください。

宿 泊 利 用 ホ テ ル	ア ク セ ス
ホテル・アルファワン第二松江	JR松江駅より徒歩1分
松江アーバンホテル	JR松江駅より徒歩3分
松江プラザホテル	JR松江駅より徒歩1分
松江エクセルホテル東急	JR松江駅より徒歩3分
ホテル・アルファワン松江	JR松江駅より徒歩5分

※駐車場について

大会事務局でJR松江駅から徒歩15分のところに駐車場を準備しています。

11月4日(金)の初日受付前に駐車して頂き、11月6日(日)の最終日には車をとりに来て頂くようお願いいたします。なお、駐車料金は無料となっております。

駐車場の場所につきましては、宿泊ホテルの決定報告書と一緒に郵送させていただきます。

●オプションツアーについて

・料金・実施内容は別紙「観光オプションツアーのご案内」を参照ください。

●変更・取消し

ご変更・お取消しの場合は弊社、東武トップツアーズ(株)松江支店まで必ずFAX(書面)にてご連絡ください。

トラブル防止のため、お電話でのお申出は受付できません。予めご了承ください。

お申込後、お客様のご都合により取消しの場合、下記の取消料がかかりますのでご注意ください。

【宿泊】

取	消	日	取 消 料
宿泊の前日から起算して さかのぼって		20日目にあたる日以降、 8日目に当たる日までの解除	宿泊代金の 20%
		7日目にあたる日以降、 2日目に当たる日までの解除	宿泊代金の 30%
宿泊前日の解除			宿泊代金の 40%
宿泊当日18時までの解除			宿泊代金の 50%
宿泊当日18時以降または無連絡不泊の場合			宿泊代金の100%

※宿泊日当日の取消の場合は、宿泊施設に直接ご連絡ください。18時までに連絡がない場合は、無連絡不泊として100%の取消料を申し受けます。

【観光オプションツアー】

取	消	日	取 消 料
旅行開始日の前日から起算して さかのぼって		10日目にあたる日以降、 8日目に当たる日までの解除	旅行代金の 20%
		7日目にあたる日以降、 2日目に当たる日までの解除	旅行代金の 30%
旅行開始日の前日の解除			旅行代金の 40%
旅行開始日の当日の解除			旅行代金の 50%
旅行開始後または無連絡不参加の場合			旅行代金の100%

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業第38号



松江支店

島根県松江市白潟本町13-4 三井生命ビル7F
 総合旅行業務取扱管理者：二宮 俊雄
 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員
 担当 中谷 平・田中 純子
 TEL 0852-21-5425 FAX 0852-23-0433
 営業時間：平日09：00～18：00（土・日・祝日休み）
 E-mail MATSUE2@tobutoptours.co.jp
 承認番号：客国16-283

観光オプションツアーのご案内

申込番号：①

コース① 出雲の国 ^{えにし} 縁の旅 お一人様 8,500円

募集人員40名／最少催行人員20名／添乗員同行／昼食1回／入場料を含む

月日	日	程
11/6 (日)		「鏡の池」で縁占い 「願い石」に触れば
		松江駅 南口 〓 八重垣神社 〓 玉作湯神社 〓
		8:30 9:00 9:30 10:00 10:30
		遠い昔の日本が見えてくる 二拝四拍手一拝ご縁がありますように
	〓 古代出雲歴史博物館 〓 出雲大社 神門通り散策 〓	
	11:00 12:00 12:10 (昼食) 14:00	
	〓 出雲市駅 〓 出雲縁結び空港 〓 松江駅	
	14:30 15:00 15:50	

〈旅行代金に含まれるもの〉

行程表に記載の貸切バス代金、昼食1回、入場・拝観料、添乗員同行費用。上記以外は含まれません。

申込番号：②

コース② 横山大観と日本庭園めぐり お一人様 12,400円

募集人員40名／最少催行人員20名／添乗員同行／昼食1回／入場料を含む

月日	日	程
11/6 (日)		松江駅 南口 〓 松江中央IC 〓 安来IC 〓
		8:00
		名園と横山大観コレクション 安来節の殿堂
		〓 足立美術館 〓 安来節演芸館 〓
	8:40 10:10 10:20 11:10	
	寒牡丹と池泉回遊式日本庭園	
	〓 大根島 日本庭園由志園 〓 松江駅 〓 出雲縁結び空港	
	12:00 (昼食) 13:00 13:40 14:30	

〈旅行代金に含まれるもの〉

行程表に記載の貸切バス代金、昼食1回、入場料、添乗員同行費用。上記以外は含まれません。



松江支店

島根県松江市白潟本町13-4 三井生命ビル7F
TEL 0852-21-5425 FAX 0852-23-0433

旅行条件

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法第12条の5に定める契約書の一部となります。この条件に定めのない事項は、当社旅行業約款（募集型企画旅行契約の部）によります。当社旅行業約款は当社ホームページからご覧いただけます。

この旅行は東武トップツアーズ株式会社松江支店（以下「当社」といいます。）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。旅行契約の内容、条件は、当パンフレットの記載内容、本旅行条件書、確定書面（最終日程表）、並びに当社旅行業約款（募集型企画旅行契約の部）によります。

1. お申込み方法・条件と旅行契約の成立

- (1) 当社は、団体・グループを構成する旅行者の代表としての契約責任者から申込みがあった場合、契約の締結・解除等に関する一切の代理権を当該代表者が有しているものとみなし、その団体に係る旅行業務に関する取引は、当該代表者との間で行います。
- (2) 所定の申込書によりお申込みください。
- (3) 旅行契約は、当社が契約を承諾し、旅行代金を受領した時に成立するものとします。
- (4) 障がいのあるお客様、高齢のお客様、妊娠中のお客様など、お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要になる可能性があります。特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので、必ず事前にお申し出ください。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、「**大金2日目の宿泊・観光オプションツアーのご案内**」の条件によりお支払いいただけます。これ以降にお申込みの場合は、旅行開始日前の当社が指定する期日までにお支払いいただきます。

3. 旅行代金に含まれるもの

「**大金2日目の宿泊・観光オプションツアーのご案内**」に記載のとおりです。それ以外の費用はお客様負担となります。

4. 旅行内容・旅行代金の変更

- (1) 当社は、天災地変、戦乱、暴動、官公署の命令、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、当初の運行計画によらない運送サービスの提供その他当社の関与し得ない事由が生じた場合においてやむを得ないときは、旅行内容・旅行代金を変更することがあります。天候等の不可抗力により航空機等の運送機関のサービスが中止又は遅延となり、行程の変更等が生じた場合の宿泊費、交通費等はお客様の負担となります。
- (2) お申込みいただいた人数の一部を取消される場合は契約条件の変更となります。実際にご参加いただくお客様の旅行代金が増える場合がありますのであらかじめご了承ください。詳しくは係員におたずねください。

5. 旅行契約の解除

- (1) お客様は、「**大金2日目の宿泊・観光オプションツアーのご案内**」に記載の取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。なお、旅行契約の解除期日とは、当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた時を基準とします。また、当社は当社旅行業約款の規定に基づき、旅行開始前及び旅行開始後であっても、お客様との旅行契約を解除することがあります。
- (2) お客様のご都合で旅行開始日あるいはコースを変更される場合、また、申込人数から一部の人数を取消される場合も、上記取消料の対象となります。
- (3) 申込人数が最少催行人員に満たないときは、旅行の実施を中止します。この場合、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目、日帰り旅行にあっては旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目にあたる日より前までに旅行を中止する旨を通知します。

6. 旅程管理及び添乗員等の業務

- (1) 添乗員は同行いたしません。(2) 必要なクーポン類をお渡しいたしますので、旅行サービスの提供を受けるための手続はお客様ご自身で行なっていただけます。また、悪天候等によってサービス内容の変更を必要とする事由が生じた場合における代替サービスの手配及び必要な手続は、お客様ご自身で行っていただけます。

7. 当社の責任及び免責事項

- (1) 当社は、当社又は手配代行者の故意又は過失によりお客様に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、手荷物の損害については、14日以内に当社に対して通知があった場合に限り、お1人様15万円を限度として賠償します。（当社に故意又は重大な過失がある場合を除きます。）
- (2) お客様が、次のような当社の関与し得ない事由により損害を被られたときは、当社は責任を負いません。①天災地変、戦乱、暴動、テロ、官公署の命令等又はこれらによる日程の変更や旅行の中止 ②運送・宿泊機関等のサービス提供の中止等又はこれらによる日程の変更や旅行の中止 ③自由行動中の事故 ④食中毒 ⑤盗難 ⑥運送機関の遅延、不通、スケジュール変更、経路変更又はこれらによる日程の変更や目的地滞在時間の短縮

8. 旅程保証

- (1) 当社は契約書面及び確定書面に記載した契約内容のうち、次の①～⑧にあたる重要な変更が生じた場合は、旅行代金に1～5%の所定の率を乗じた額の変更補償金を支払います。ただし、1企画旅行につき合計15%を上限とし、また補償金の額が1,000円未満のときはお支払いいたしません。

①旅行開始日又は旅行終了日 ②入場する観光地又は観光施設、レストラン、その他の旅行目的地 ③運送機関の等級又は設備のより低い料金のものへの変更 ④運送機関の種類又は会社名 ⑤本邦内の出発空港又は帰着空港の異なる便への変更 ⑥宿泊機関の種類又は名称 ⑦宿泊機関の客室の種類、設備、景観その他の客室の条件 ⑧前各号に掲げる変更のうちツアータイトル中に記載があった事項

- (2) ただし、次の場合は、当社は変更補償金を支払いません。①次に掲げる事由による変更の場合（ただし、サービス提供機関の予約超過による変更の場合を除きます。）ア. 旅行日程に支障をもたらす悪天候、天災地変イ. 戦乱 ウ. 暴動 エ. 官公署の命令 オ. 欠航、不通、休業等運送・宿泊機関等のサービス提供の中止 カ. 遅延、運送スケジュールの変更等当初の運行計画によらない運送サービスの提供 キ. 旅行参加者の生命又は身体の安全確保のために必要な措置 ②契約書面・確定書面に記載した旅行サービスの提供を受ける順序が変更になった場合でも、旅行中に当該旅行サービスの提供を受けることができた場合。

- (3) 当社は、お客様の同意を得て、金銭による変更補償金の支払いに替え、これと同額又はそれ以上の価値のある物品又は旅行サービスの提供をもって補償を行うことがあります。

9. 特別補償

当社は、特別補償規程の定めるところにより、お客様が旅行中に急激かつ偶然的な外來の事故により、その身体又は荷物に被られた一定の損害については、補償金及び見舞金を支払います。死亡補償金1,500万円、入院見舞金2～20万円、通院見舞金1～5万円、携帯品損害補償金旅行者1名につき15万円以内。

10. お客様の責任

- (1) お客様の故意又は過失、法令違反、当社の旅行業約款の規定を守らなかったことにより当社が損害を受けた場合は、お客様から損害の賠償を申し受けます。

- (2) お客様は、当社から提供される情報を活用し、お客様の権利・義務その他旅行契約の内容について理解に努めなければなりません。
- (3) 旅行開始後に、パンフレット等に記載された内容と実際のサービス内容が異なると認識した場合、旅行中に事故などが発生した場合は、旅行地においてすみやかに当社又は旅行サービス提供機関にお申し出ください。

11. 個人情報の取扱い

- (1) 当社は、申込みの際提出いただいた申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、申込みの旅行における運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領のための手続に必要な範囲内及び当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続上必要な範囲内、当社と個人情報の取扱いについて契約を締結するそれら運送・宿泊機関、保険会社等に対し、あらかじめ電子的方法等で送付することによって提供させていただきます。また、事故等の発生に関連し警察の捜査時の資料提供及び国土交通省・外務省その他官公署からの要請により個人情報の提供に協力する場合があります。このほか、当社では旅行を実施する上で必要な手配を行うため、提携先に個人情報を預託することがあります。また、当社及び当社と提携する企業の商品やサービス・キャンペーンのご案内、旅行に対するご意見・ご感想の提供やアンケートのお願いなどのためにお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、又は個人情報の開示、訂正、削除等については、当社所定のお手続きにてご案内いたしますので、取扱店の顧客個人情報取扱管理者へお申し出ください。なお、個人情報管理責任者は当社コンプライアンス室長となります。

12. お客様の交替

お客様は、当社の承諾を得て、契約上の地位を別の方に譲り渡すことができます。ただし、交替に際して発生した実費についてはお客様にお支払いいただきます。

13. その他

- (1) 当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。
- (2) この旅行条件・旅行代金は平成28年5月13日現在を基準としております。

●お申込み・お問合わせは

【旅行企画・実施】 観光庁長官登録旅行業第38号

 東武トップツアーズ株式会社

松江支店

松江市白湯本町13-4
三井生命ビル7F
電話番号 0852-21-5425 FAX 番号 0852-23-0433
営業日 平日(土・日・祝日休業)
営業時間 9:00～18:00
一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員
総合旅行業務取扱管理者：二宮 俊雄
承認番号：客国16-283

旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明の点がありましたら、遠慮なく旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

(H28.5版)

送付先 FAX0852-23-0433

新規 変更 追加 取消

第55回全日本登山大会参加申込書

申込日 月 日

申込締切日 9月2日(金)

記載責任者名 (参加代表)	役職	所属山岳会名称
住所 (書類送付先)	〒	TEL
		FAX
		携帯

No.	氏名	住所	性別	年齢	生年月日	希望コース ※①	来県交通手段 ※②	OP観光
例	マツエ 松江 太郎	〒890-0061 島根県松江市白潟本町13-4	男	55	S36年11月01日	第一希望 A 第二希望 B 第三希望 C	車・JR 高速バス 航空機	①
1	フリガナ					第一希望 第二希望 第三希望	車・JR 高速バス 航空機	
2	フリガナ					第一希望 第二希望 第三希望	車・JR 高速バス 航空機	
3	フリガナ					第一希望 第二希望 第三希望	車・JR 高速バス 航空機	
4	フリガナ					第一希望 第二希望 第三希望	車・JR 高速バス 航空機	

※①必ず第三希望まで記入下さい。

※②島根県への利用交通手段に○印をお付け下さい。

※変更・取消をご希望の場合も本用紙にその内容をご記入の上、郵送又はFAXにてご連絡下さい。

※お電話でのお申込・取消は出来かねますので、ご了承下さい。

※ご記入いただいた個人情報は大大会参加手続き及びご旅行の手配業務のためのみに使用いたします。

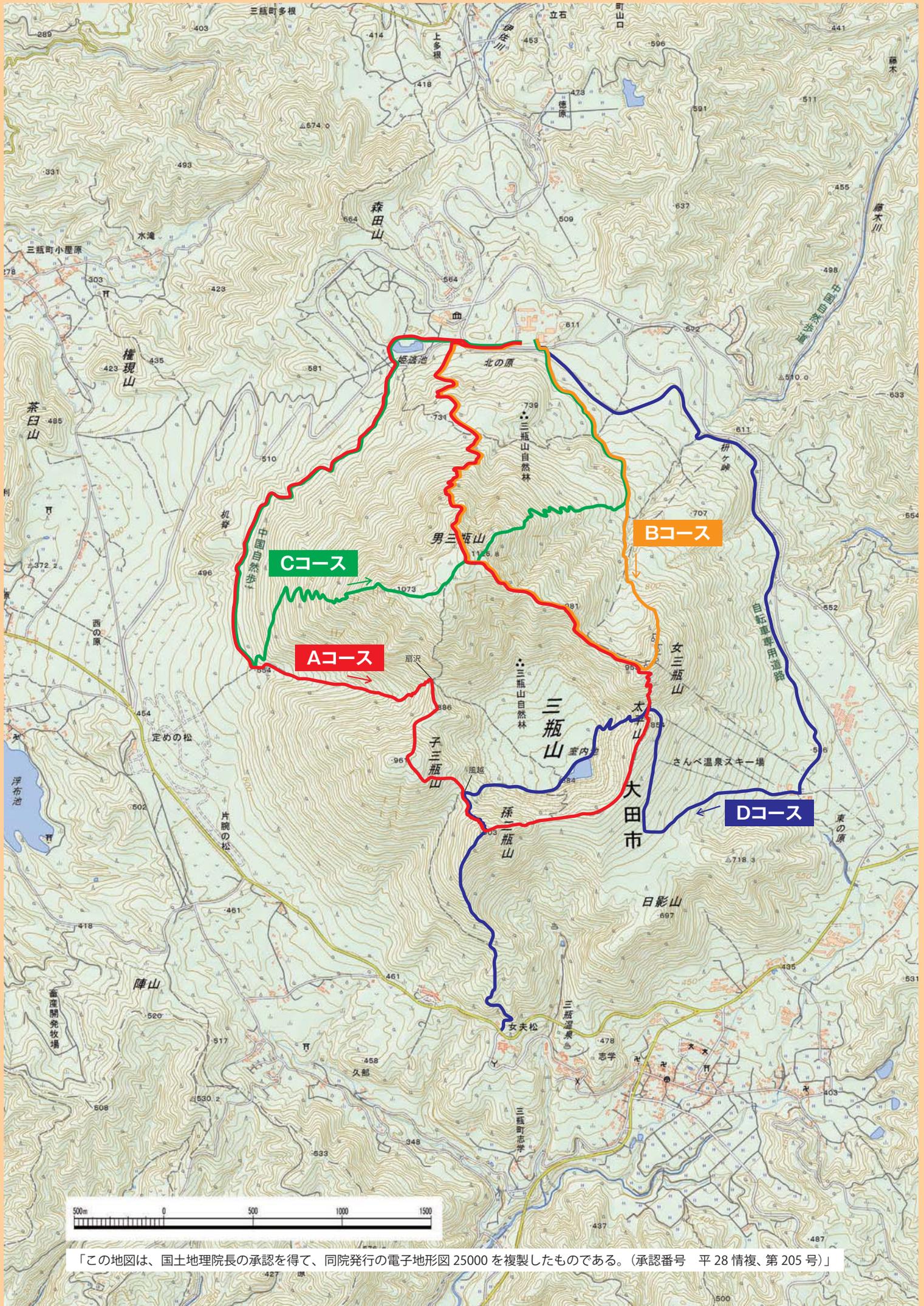
【お申込み・お問合せ先】

東武トップツアーズ株式会社 松江支店

島根県松江市白潟本町13-4 三井生命ビル7F

TEL: 0852-21-5425 FAX: 0852-23-0433

担当 中谷・田中



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 28 情複、第 205 号)」